

第75回C I S研究所パートナー会議事録（一般様用）

開催日： 2018年3月25日（日）

場 所： C I S会議室

講 師： 神田 忠起 様

テーマ： 電気音響調整と電気音響測定



会議風景

1) 電気音響調整と電気音響測定

音響調整と音響測定

工事完了後、音響調整と測定を行って、電気音響及び建築の設計結果を確認する必要があります。しかし、音響調整と音響測定には本質的な違いがあります。

■ 音響調整＝音響測定 ではない。

本来はこの2つの用語は全く別な内容を表しているにもかかわらず多くの場合混同して使われています。実際には2つの活動は相互に関係し合い、一部にはオーバーラップしている部分もありますが以下のように分けられます。

◆ 音響測定とは、

現在の音響性能を確認し、客観的な指標を用いて記録する活動である。

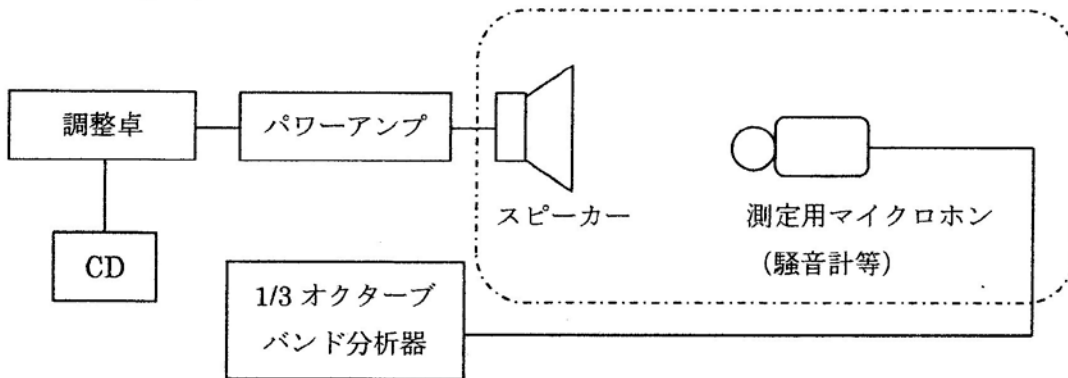
◆ 音響調整とは、

システム本体の備えている音響性能の潜在能力を最大限に引き出す為の活動である。

測定項目

電気音響測定については以下の通りです。一般的に左右対称の現場が多いので中心軸から半面を対象範囲とします。

- ① 伝送周波数特性
 - ② 音圧レベル分布
 - ③ 安全拡声利得
 - ④ 最大再生音圧レベル
 - ⑤ 残留雑音レベル
- ① 伝送周波数特性



伝送周波数特性測定のプロック・ダイアグラム例

***** 中略 *****

コメント(ホールの残響):

ホールの建物はジェネコンが受ける。 PAは施主が選択する場合場多い。

大ホールでのPAは、原則として公演者が持ち込むことが多い。

(ホールに常設しているPAシステムを壊されるのを恐れて持ち込になっているところが大半)

ホールの残響特性は、満席での測定値で評価される。



会議風景

2:今後の日程と講師依頼

4月度	4月29日(日)	講師	山本 洋一担当
5月度	5月27日(日)	講師	西村 靖紀 様
6月度	6月24日(日)	講師	竹内 学 様
7月度	7月29日(日)	講師	中尾 元一様

ホームページURL

<http://www.cis-laboratories.co.jp/>

以上